肺機能検査をより多くの患者さんに

当院の患者さんにご協力頂いた、肺機能検査機器(Minibox®、パルムワン)の国内初の検証試験の結果が、International Journal of Tuberculosis and Lung Disease (2023 年 9 月号) に掲載されました。

(https://www.ingentaconnect.com/content/iuatld/ijtld/2023/00000027/00000009/art00011;jsessionid=1213dgtkmv1wr.x-ic-live-02)

厚生労働省は、国民の健康寿命を伸ばすため、「健康日本 21」運動を策定してきました (第 1 次, 2000 年～2012 年; 第 2 次, 2013 年～2022 年)。2024 年度から 10 年間の取り組み健康日本 21(第 3 次)では、「COPD による死亡率減少」を目標の一つに掲げていますが、その目標達成には、肺機能検査等の客観的検査の普及が必要とされています。COPD 患者さんの病状は多様で、患者さん個人によって異なるため、色々な肺機能指標を組み合わせて、患者さんの病状を評価する必要があるからです。

Minibox は卓上コンパクトかつ廉価な肺機能検査機器です。Minibox が普及すれば、これまで、大規模病院、大型医療機器でのみ可能であった肺容量測定や肺拡散能(肺が酸素を血中に取り込む力)測定が、クリニックや健診施設でも可能になります。今回の研究により、Minibox は肺容量測定や肺拡散能測定を、汎用大型医療機器と同様に、正確に行えること明らかになりました。クリニックなどでも、従来のスパイロメトリに加え、肺容量測定や肺拡散能測定が行えるようになれば、個々の COPD 患者さんの病状をより的確に把握でき、より細やかな治療が可能になります。また健診施設で Minibox を用いることにより、COPD 患者さんの早期発見・早期治療も可能になり、国が掲げる COPD による死亡率減少に大きく貢献できると考えています。